

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

4月号



令和4年度 西部教育局学校教育担当の取組

令和4年度各種研修会・協議会等スケジュール表
(令和4年4月現在)

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
年度当初の学級づくり

～円滑な幼保小連携・接続をめざして～
幼保小の管理職による連絡協議会のススメ

令和4年度 西部地区特別支援教育における
専門性向上のための研修等について

特別支援学級における諸帳簿等について

障がいのある児童生徒等の指導
基本のチェックポイント13

西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント
～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

西部教育局ホームページ

令和4年度 西部教育局学校教育担当の取組

学校

学校教育目標の達成(学校経営の充実)

課題の共有・連携・協力

幸せに生きるための、
確かな学力と豊かな人間性、
社会性を身に付けた子ども

市町村(学校組合)教育委員会

地域の特色を生かした学校づくり

課題の共有・連携・協力

課題の共有・連携・協力

西部教育局学校教育担当

対象組織のニーズに応えるチーム支援
相互の信頼関係の構築と情報の提供

学習指導要領の円滑な実施に向けて、学校のニーズに応じた学校訪問・支援を行います。

マネジメントサイクルを意識しながら各種事業・研修会等を効果的に実施し、その成果を検証します。

特別支援教育担当

一次支援の充実
校内支援体制の更なる充実

【特別支援学級の目指す姿】

- 個に応じた適切な教育課程の編成と確実な実施
- 自立活動の正しい理解と実践
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と効果的な活用

【通常学級の目指す姿】

- 個に応じた支援の検討と充実
- 効果的な環境整備
- ・LD等専門員による巡回相談(年2回)、依頼相談(随時)の実施

連携・協力

【局の主な取組】

- ・県立特別支援学校と連携した研修
- ・特別支援教育よろず相談
- ・教務主任や市町村(学校組合)教育委員会指導主事を対象とした研修

学力向上担当

全ての子どもが
「わかった」「できた」を実感できる授業

【学校の目指す授業・研究の姿】

- 本時で身に付けるべき指導事項が明確な授業
- 指導と評価の一体化が図られた授業
- 「めあてーまとめ・振り返り」の質の向上
- ミドルリーダーを活用した若手教員の育成
- 全職員が授業力向上に取り組む研究組織

【局の主な取組】

- ・各種研修会の開催
- ・島根大学との連携
- ・単元到達度評価問題
- ・若手教員派遣
- ・学力向上推進校事業

連携・協力

学習指導要領

めあてーまとめ・振り返り

ICT活用

幼児教育担当

子供の育ちと学びを
つなぐ円滑な接続

【園の目指す姿】

- 「遊びきる子ども」を育む保育の充実
- 園内研修の充実
- アプローチカリキュラムの編成・改善

【小学校の目指す姿】

- 校区の幼保小連絡協議会の実施
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫
- スタートカリキュラムの改善

連携・接続

【局の主な取組】

- ・幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会(4回)
- ・幼保小接続推進研修会
- ・計画訪問、要請訪問
- ・幼保小接続推進リーダー育成事業
- ・向上期パワーアップ研修
- ・幼保小接続アドバイザーの活用推進

生徒指導担当

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

【学校の目指す姿】

- 「楽しい」と実感できる魅力ある学校・学級づくり
- 児童生徒理解に基づく適切な支援
- 新たな不登校を生まないための早期発見・早期支援
- 積極的ないじめの認知による早期発見・早期対応
- 問題行動等の未然防止・組織対応

【局の主な取組】

- ・地域や学校のニーズにあった情報提供
- ・校内研修等への支援
- ・学級づくりや校内指導体制への助言

連携・協力

学級づくり

特別支援教育の視点

チーム対応

令和4年度 西部教育局学校教育担当 事務分担

分 担	主 査	副 査
○学校教育指導の総括に関すること	玉木学校教育係長	松田指導主事
○学校教育担当事務の総括に関すること		
○市町村教育委員会訪問及び学校訪問の総括に関すること		
○学校経営・学校運営に関すること		
○研修派遣に関すること		
○関係各課との連携に関すること		
○教育相談に関すること	足立課長補佐	松永指導主事
○校長会連絡に関すること	村尾指導主事	松田指導主事
○学習障がい等特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育指導に関すること		岩佐指導主事
○特別支援教育全般に関すること		
○市町村教育委員会学校教育担当者との連携に関すること	松田指導主事	岩佐指導主事
○人権教育に関すること		岩佐指導主事
○学校訪問に関すること		前田指導主事
○教育課程(小学校)に関すること		前田指導主事
○理数教育に関すること		加藤指導主事
○日野郡小中学校の学校教育に関すること(義務教育学校関係を含む)		加藤指導主事
○教育課程に関すること(幼稚園・保育所・認定こども園)	西山指導主事 篠田保育専門員	加藤指導主事
○幼児教育に関すること		
○福祉教育に関すること		
○学力向上に関すること(G7・全国学調・とっとり学調・島大連携を含む)	前田指導主事	松田指導主事
○エキスパート教員に関すること		松永指導主事
○教育課程(中学校)に関すること		松田指導主事
○文化芸術教育に関すること		岩佐指導主事
○図書館教育に関すること		加藤指導主事
○米子市中学校の学校教育に関すること		松永指導主事
○情報教育に関すること(I7・GIGAスクール・ホームページ含む)	加藤指導主事	岩佐指導主事 石原ICT活用教育 スーパーバイザー
○教科用図書事務に関すること		松永指導主事
○外国語教育・国際理解・国際交流に関すること		前田指導主事
○特別非常勤講師に関すること		松永指導主事
○学校安全・学校体育に関すること		岩佐指導主事
○西伯郡の学校教育に関すること		松永指導主事
○生徒指導に関すること	松永指導主事	岩佐指導主事
○教育相談(SC)に関すること		岩佐指導主事
○ふるさと・キャリア教育に関すること		前田指導主事
○島根大学との連携に関すること(コンソーシアム・CHA×3プログラム)		前田指導主事
○道徳教育に関すること		加藤指導主事
○米子市小学校の学校教育に関すること		前田指導主事
○教育センター研修等に関すること	岩佐指導主事	松田指導主事
○健康教育に関すること		松永指導主事
○進路指導・高等学校教育に関すること		前田指導主事
○社会科教育(環境・主権者・消費者)に関すること		松永指導主事
○家庭地域教育との連携に関すること(CS・土曜授業等を含む)		加藤指導主事
○境港市の学校教育に関すること		松田指導主事
事業関係		
事業関係	主査	副査
○学力向上総合対策推進事業	前田指導主事	松田指導主事
○西部教育の未来を支える人材育成事業	岩佐指導主事	松永指導主事
○島根大学との連携(学力向上)	前田指導主事	松田指導主事
○島根大学との連携(CHA ³ プログラム)	松永指導主事	岩佐指導主事
○島根大学との連携(外国語教育)	加藤指導主事	前田指導主事
○小学校算数単元到達度評価問題	前田指導主事	加藤指導主事
○ICT推進校事業・プログラミング教育	加藤指導主事	岩佐指導主事
○ふるさと・キャリア教育モデル事業(キャリアパスポート含む)	松永指導主事	岩佐指導主事

月	日	研修会名等	会場
4月	7日 (木)	第1回スクールカウンセラー連絡協議会	各学校(オンライン)
	12日 (火)	第1回学校生活適応支援員連絡協議会	西部総合事務所
	26日 (火)	第1回西部地区公立学校研究主任等研修会及び情報交換会	各学校(オンライン)
	未定	第1回西部地区特別支援教育主任研修会	西部総合事務所
5月	下旬	幼保小接続推進リーダー育成事業 第1回連絡協議会	未定
7月	下旬	第1回西部地区教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所
	下旬	西部地区講師研修会	西部総合事務所
8月	5日 (金)	幼保小接続推進研修会	各学校等(オンライン)
	22日 (月)	教務主任等研修会(学力向上)	西部総合事務所
9月	未定	第2回西部地区特別支援教育主任研修会	西部総合事務所
11月	18日 (金)	学力向上推進校事業による公開授業及び授業研究会 (兼:県英語教育研究発表大会)	未定
	25日 (金)	ICT活用教育推進事業研究発表会	名和小・名和中
	未定	西部地区特別支援教育連携協議会	西部総合事務所
12月	月上旬	第2回西部地区教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所
1月	未定	第3回西部地区特別支援教育主任研修会	西部総合事務所
2月	10日 (金)	第2回西部地区公立学校研究主任等研修会及び情報交換会	西部総合事務所
		幼保小接続推進リーダー育成事業 第2回連絡協議会	東部地区
開催時期未定	【東部教育局】学力向上研修会(小学校算数) 講師:文部科学省 笠井健一 教科調査官		東部地区
	【西部教育局】学力向上研修会(小学校算数) 講師:秋田県大館市教育委員会教育研究所 米澤貴子 所長		西部地区
	【西部教育局】学力向上研修会(小学校国語、中学校国語) 講師:大妻女子大学 樺山敏郎 准教授		西部地区
	【西部教育局】学力向上研修会(中学校数学) 講師:未定		西部地区
	【西部教育局】幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会 (第1回から第4回)		西部地区

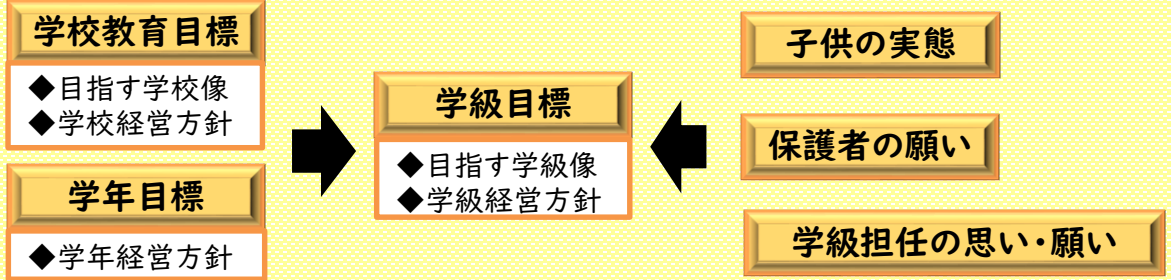
★鳥取県教育課程研究集会 ⇒ オンデマンド配信(配信時期は未定)

★西部地区人権・同和教育振興会議(4月の総会で決定)

⇒第1回はオンデマンド配信、第2回は11月の年2回開催予定

学級づくりのポイント

ポイント① 学級経営の目標を立てる(学級目標の設定)



※学校教育目標や子供の实態、担任としての思い等を参考しながら、担任としてどのような子供を育てたいのかを考えます。

学級目標は1年間を通して達成を目指す目標です。年度初めの学級会で、担任の考える目指す学級像と子供たちの学級への思いについてしっかり話し合い、「学級のシンボル・合言葉」をつくりましょう。

「学級のシンボル・合言葉」が飾り物とならないよう、達成するための手立てを子供たちと考え、実践し、日々の活動の中で振り返ることが大切です。

～学級目標を達成するための取組(例)～

○朝学活や終学活を使って、定期的に学級のシンボル・合言葉を振り返る

○大きな行事の前に、目標をもとにどう取り組むのか話し合い、行事後に取組を振り返る

ポイント② 教員と子供、子供同士の人間関係をつくる

毎日、全ての子供との一會話を心がける

- 朝、教室で出会ったとき、係の仕事に取り組む姿を見かけたとき、提出物を持ってきたとき等、子供に温かい一声をかける。(例)「〇〇さん、掃除を黙々と頑張ってたね」
- 昼休憩等に、教室内や体育館、校庭で子供たちと一緒に遊ぶ。
- 授業中の机間指導の際に、一声かける。(例)「△△さん、分からないところはないかな」

友達の気付き・発見を大切に、共有する

- 感想や日記の中から、友達の気付きや発見等、心の動いた場面を取り上げて紹介する。
- よく発言する子供だけでなく、意図的に他の子供を指名する。
- グループワークトレーニング等を取り入れ、意図的に子供同士の人間関係づくりをする。

教員と子供の良好な人間関係がなければ、子供同士の人間関係も良好にはなりません。普段から子供とともに喜んだり悲しんだりできる教員でありたいものです。

教室の空気は、子供同士の間にある関係性です。「〇〇さんすごいなあ」「ありがとう」「どうしたの」といった声かけしながら、お互いを認め合うこと意識をしましょう。

※子供同士が安心して「絆づくり」に取り組むためには、まずは、子供が落ち着ける「居場所」を教員が提供することも大切です。



～参考～
お役立ち情報
令和3年4月号

幼保小の管理職による連絡協議会のススメ

幼保小連携・接続のポイント「3つのつなぐ」

組織をつなぐ

- 管理職の連絡協議会
- 連携担当者のつながり
- 年間交流計画の作成
- 就学前後の引き継ぎ・連絡会の実施
- 園・学校・学級だより等の共有



人をつなぐ

- ねらいを明確にした園児と児童の交流
- 保育参観・授業参観
- 幼保小合同研修会
- 保育体験・授業体験



【参考】
鳥取県幼保小接続ハンドブック
育ちと学びをつなぐP.9～14



教育をつなぐ

- めざす子どもの姿の共通理解
- 教育内容・保育内容の理解
- アプローチカリキュラムスタートカリキュラムの編成・実施・評価・改善



管理職の連絡協議会は、幼保小連携・接続の推進の第一歩です。

管理職の連絡協議会は
全県で**82.6%**の
学校が実施。

【西部では**77.8%**】
(R2年度69.6%よりUP!)

【R3年度学校教育実施状況調査より】

内容例

- 校区的子どもの良さや課題の共有
- 校区的めざす子どもの姿を協議・共通理解
- 今年度の幼保小連携担当者の確認
- 合同研修会・交流活動について
- 第1回連携担当者会の日程調整 など



毎年、定期的に連絡協議会を実施している校区では、年間計画に連絡協議会を位置付けたり、声かけをする当番校・園を決めたりするなどの工夫をされています。

年度初めに、園・所と小学校の管理職が顔を合わせ、校区の目指す子どもの姿や育てたい力等、方向性を明確にすることで、校区一体となった共通実践の実現につながります。



管理職の連絡協議会を起点に幼保小連携・接続の取組をさらに進め、「遊びの中の豊かな育ちと学び」を「主体的な学び」へとつないでいきましょう。

令和4年度 西部地区特別支援教育における専門性向上のための研修等について

西部教育局特別支援教育担当

「見取りの方法」や「支援の引き出し」を増やしましょう！



【特別支援学級新担任研修】

5月17日、7月5日（教育センター職務研修）

【LD等専門員巡回相談・依頼相談】

巡回…年間2回実施 依頼…随時

一次支援の充実に向けた助言

校内支援体制の更なる充実に向けた助言

子供たちの力を
最大限に伸ばす



【西部地区特別支援教育連携協議会】（局主催）

県立特別支援学校等について 11月中に開催予定

（鳥取盲学校、鳥取聾学校ひまわり分校、皆生養護学校、米子養護学校、琴の浦高等特別支援学校のコーディネーター、鳥取県「エール」発達障がい者支援センターと連携して実施）

【新任特別支援教育主任研修】

5月26日（教育センター職務研修）

子供たちが「わかった」「できた」と実感できる教室環境とは？ 学習支援とは？

子供たちのために、
私たちが「できること」、
「しなければならないこと」を
『チーム西部』で考え、
確実に実行していきましょう！



特別支援教育主任(担当)

情報収集、助言等

連絡調整等

校内委員会の運営等

必要とする
機関との
連絡調整等

担任 保護者

学年団 養護教諭
特別支援学級担任 等

校長 教頭 生徒指導担当
教育相談担当 等

SC SSW 通級担当者 LD等専門員
特別支援学校(特別支援教育コーディネーター)

医療 福祉 労働 その他関係機関等
市町村(学校組合)教育委員会

<連携レベル>

学級

一次支援の充実

関係教職員

二次支援

校内委員会

三次支援

校外の関係機関

四次支援

図：支援の広がり「特別支援教育の手引き 鳥取県教育委員会 令和2年3月」より
※ 令和4年3月改訂版を3月中旬に各学校にお届けしています。

新規【特別支援教育主任研修】（局主催）

主任業務等について 学期1回の開催を予定

※開催方法等、詳細については、別途通知します。

【教務主任等研修会】（局主催）

第1回 特別支援学級の教育課程と教科用図書について
7月下旬に開催予定

第2回 個別の指導計画の作成と活用について
12月上旬に開催予定

※開催方法等、詳細については、別途通知します。

【西部地区市町村（学校組合）教育委員会 特別支援教育担当者情報交換会】（局主催）

4月22日、8月2日、12月16日

【特別支援教育よろず相談会】（局主催）

年間20コマ開催予定

特別支援学級における諸帳簿等について

令和4年3月作成版 西部教育局

□指導要録（特に「指導に関する記録について」）

➤A様式（いわゆる数値評価）かB様式（いわゆる記述式評価）かを確認してください。

□A様式…小学校又は中学校に準ずる教育がほぼ可能である児童生徒の場合（下学年適用も含む）

※下学年適用の場合 → 適用した学年の評価規準に基づいて評価し、評定を記載します。

→ 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄にその旨を記載します。

□B様式…特別支援学校（知的障がい）の教科等を取り入れ、各教科等を合わせた指導を導入して教育を行う（知的障がいのある）児童生徒の場合

【参考通知等】

◇「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」

平成31年3月29日付 30文科初第1845号 文部科学省初等中等教育局長

◇「小学校、中学校及び義務教育学校特別支援学級指導要録について（通知）」

令和2年3月26日付 第201900338485号 鳥取県教育委員会教育長

◇「特別支援教育の手引」 令和4年3月 鳥取県教育委員会 ※令和4年3月中に改訂版を配布予定

◇西部教育局からのお役立ち情報「特別支援教育はっと通信 指導要録の様式」 令和4年2月 西部教育局



□出席簿・児童生徒名簿

□就学支援関係書類

□各市または西部町村就学支援委員会の審査資料（観察票、個人調査票、診断書 ←いわゆる3点セット）

□保護者の入級承諾書 □各市または西部町村就学支援委員会の審査結果

□各市町村（学校組合）教育委員会の就学決定通知 □校内就学支援委員会の記録

・新就学児の就学決定通知は、申請した施設（園等）に届いています。各地教委に確認し、写しを保存しておきましょう。

・個別のファイルに綴じて、過去の記録（経過）がすぐに確認できるようにしておきましょう。

□個別の教育支援計画

➤必ず作成してください。

・学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点で幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うために作成します。

□自立活動の個別の指導計画

➤必ず作成してください。

・自立活動の内容は、児童生徒個々の実態に合わせて設定するため、個別の指導計画も個別に作成します。

・年間指導計画に支援方法と評価の欄を追加し、記入していく形式でもよいです。

□各教科等の個別の指導計画

➤必ず作成してください。

・年間指導計画に支援方法と評価の欄を追加し、記入していく形式でもよいです。

□各教科等の年間指導計画

➤必ず作成してください。

※単元名のみ題材配当表とは異なります。

・児童生徒が履修している各教科、領域等のすべてのものを作成します。

※自立活動の年間指導計画も必要です。

【当該学年に準じた学習の場合や下学年適用の場合】

・学習時期、単元名、目標、学習内容、評価規準等の欄を設けましょう。

【知的障がい特別支援学校の教育課程を選択する場合】

・学習時期、単元名、目標（付けたい力）、学習内容等の欄を設けましょう。

※各教科等を合わせた指導の形態（生活単元学習、作業学習など）を取り入れる場合も、その年間指導計画が必要となります。

※自立活動や各教科等を合わせた指導については、1年間を見通した計画はすぐには立てにくい場合があります。

まずは、1学期分あるいは前期分を立てて、児童生徒の様子が出てきてから、残りの計画を立てていく方法も有効です。

➤各教科で採択されている教科書名を記載してください。

※適切に教科書を給与するために、児童生徒一人一人の「教科書給与リスト」等を作成しましょう。

【参考通知等】

◇「特別支援学級における適切な教科書給与について（通知）」

平成30年10月31日付第201800209448号 鳥取県教育委員会事務局小中学校課長 特別支援教育課長

◇「特別支援学級で使用する教科書（一般図書）の無償給与に関する一部訂正について（依頼）」

令和3年9月2日付第202100137953号 鳥取県教育委員会教育長

◇「特別支援教育の手引」 令和2年3月 鳥取県教育委員会 ※令和4年3月中に改訂版を配布予定

1つのファイルに綴じた後、インデックスを付けると
活用しやすくなり、業務改善にもつながります。



基本のチェックポイント13

障がいのある児童生徒等の「分かる」「できる」を支える、基本の13のポイントをチェックしましょう。
※児童生徒等の実態に応じて、配慮の有無や程度は変わります。

		チェックポイント
接し方	<input type="checkbox"/>	児童生徒等のよいところや強みをたくさん見つけましょう。 児童生徒等のやる気、指導・支援のヒントにつながります。
	<input type="checkbox"/>	担任が、一番身近なモデルになりましょう。 児童生徒等は担任の話す言葉やふるまいを真似ることが大好きです。
	<input type="checkbox"/>	「なぜ」の視点で、児童生徒等の言動の背景を探りましょう。 言動のみを評価せず、その背景(障がいの状態や発達段階、前後の事象等)に目を向けます。
指導・支援	<input type="checkbox"/>	具体的な言葉で、一つずつ指示を伝えましょう。 「筆箱をもって、並んで図書室に行きましょう」 →「今から図書室に行きます」「筆箱を持ちましょう」「廊下に出席順に並びましょう」等。
	<input type="checkbox"/>	具体物、写真、文字等で補い、分かりやすく情報を伝えましょう。 例) 校外学習の行先の写真を提示する。口頭指示を板書する。
	<input type="checkbox"/>	1時間の授業のめあてと流れを明示しましょう。 児童生徒等に分かる言葉で、簡潔に示す配慮が必要です。
	<input type="checkbox"/>	活動の終わりはどこかを具体的に伝え、見通しをもたせましょう。 例) 「〇時〇分にはこの作業を終わります」「5枚封筒を作ったら終わりです」等。
	<input type="checkbox"/>	予定を提示するなど見通しをもたせ、自主性を高めましょう。 例) 月・週・1日の予定を示す。変更は口頭ではなく、板書して伝える。
	<input type="checkbox"/>	スモールステップの課題を準備し、成功体験を積みませましょう。 「分かった」「できた」を実感させ、学びの確実な定着と意欲の向上を図ります。
教室環境	<input type="checkbox"/>	片付けの場所や道具の置き場所を分かりやすく示しましょう。 例)ロッカーに道具の名前やイラストを貼る。
	<input type="checkbox"/>	場の構造化を図り、活動を分かりやすくする工夫をしましょう。 例) 教室をいくつかのエリアに分け、学習スペース、作業スペース、休憩スペース等を設ける。
	<input type="checkbox"/>	視覚的な刺激を整理し、集中しやすい環境を整えましょう。 例) 教室前面の掲示物を整理する。不要なものをカーテンで覆う。
	<input type="checkbox"/>	教室内外の音が集中の妨げとならないよう配慮しましょう。 例) 複数学年で同時に学習する際の他学年への指導の声、隣の教室の音等に配慮する。

◇障がい特性に応じて、それぞれ配慮が必要です。

⇒「西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント 西部教育局 令和3年3月」参照

◇上記のチェックポイントを意識しながら、各教科等の指導や日頃の関わりに留意しましょう。

◇児童生徒等によっては複数の障がいを併せ有している場合もあるため、主たる障がいだけでなく、併せ有する障がいへの配慮にも心がけましょう。

「特別支援教育の手引 令和2年3月 鳥取県教育委員会」より(一部加工)

西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント

令和3年3月作成版 西部教育局

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

◇弱視者		
1	<input type="checkbox"/>	歩行等の妨げになる物を、床面や頭上に置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/>	机の角や突起物には、カバーをする等、安全面に留意している。
3	<input type="checkbox"/>	適切な採光を確保している。
4	<input type="checkbox"/>	ロッカーや必要な道具には、聴覚や触覚を活用できるように工夫している。
5	<input type="checkbox"/>	どのような状態が見えにくいかを理解し、対象物自体を拡大する等、一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。 (例) 文字等を拡大する。見えやすい色を使う。境界や輪郭をはっきりさせる。等
6	<input type="checkbox"/>	資料等はあらかじめ渡し、読む時間等を確保している。
7	<input type="checkbox"/>	指示代名詞(「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」等)を使わず、具体的に話している。
◇難聴者		
1	<input type="checkbox"/>	生活や学習場面で騒音を軽減する工夫をしている。(例) 椅子の脚へのテニスボールの使用 等
2	<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの取り方を工夫している。(例) 筆談、身振り、手話、指文字 等
3	<input type="checkbox"/>	きこえの状態に応じた学習形態や集団活動を工夫している。
4	<input type="checkbox"/>	聴覚活用に配慮している。(例) 補聴器等の装用・管理、音や言葉をきき取る指導 等
5	<input type="checkbox"/>	教科指導の中でも、言葉の理解や定着を意識した指導を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	話の内容が確実に伝わったか、確かめる方法を工夫している。
7	<input type="checkbox"/>	曖昧な表現は避け、できるだけ具体的な言葉で指示をしている。
8	<input type="checkbox"/>	話し手の口元が見えるような位置で、ゆっくりはっきりとした口調で話している。
9	<input type="checkbox"/>	絵や写真、具体物、身振り、文字等の視覚的な手がかりを組み合わせ、聴覚からの情報を補いながら指導している。
◇知的障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	具体的な言葉で話したり、指示を1つずつ伝えたりすることで、「わかった」「できた」という気持ちをもたせる指導に心がけ、成功体験を積みませている。
2	<input type="checkbox"/>	ねらいを達成できるよう、スモールステップの指導に心がけている。
3	<input type="checkbox"/>	本人の理解やスピードに合わせて指導したり、課題や活動の量を調整したりしている。
4	<input type="checkbox"/>	見通しをもたせるために、わかりやすいヒントや教材・教具を用意している。
5	<input type="checkbox"/>	学年相応の言葉遣いや対応を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	身辺自立や社会生活に必要な知識、技能及び態度が身に付くよう、生活に結び付いた実地的で具体的な学習を行っている。

◇肢体不自由者		
1	<input type="checkbox"/>	車椅子や歩行等での移動に障がいとなる物を置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/>	できる限り段差がない環境を整えている。
3	<input type="checkbox"/>	安定した姿勢が保持できるように、机や椅子の位置や高さ等に注意している。
4	<input type="checkbox"/>	経験不足を補うための実際的な体験活動を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/>	指導の効果を高めるために、補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。
6	<input type="checkbox"/>	自立活動の時間を中心に、身体の動きに関する指導を計画的に行っている。
◇病弱者及び身体虚弱者		
1	<input type="checkbox"/>	学力や学習空白、健康状態、心理状態等を考慮して、学習時間を設定している。
2	<input type="checkbox"/>	自分の病気に対する正しい知識や管理していく技能、意欲を育てるような指導が行われている。
3	<input type="checkbox"/>	学習活動、休憩等を効果的に使用できるように、畳やソフトマット等で作られたスペースを設けている。
4	<input type="checkbox"/>	経験の偏りが見られる場合が多いため、活動が負担過重にならないように注意しながら、直接的な体験を含んだ学習を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/>	コンピューター等の情報機器を積極的に活用し、間接的な経験を含んだ学習を取り入れている。
◇自閉症・情緒障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	刺激となるものを整理したり、場の構造化を図ったりして、集中しやすい環境を整えている。 (例) 教室の全面の掲示を減らす。本棚など気が散りやすい場所にカーテンをつける。等
2	<input type="checkbox"/>	片付けの場所や道具の置き場所をわかりやすく示している。 (例) 名前シールを貼る。片付け方の写真を貼る。等
3	<input type="checkbox"/>	1日の流れや活動の流れをスケジュールとして提示したり、作業の手順表を活用したりする等、見通しがもてるような工夫をしている。
4	<input type="checkbox"/>	「いつ終わるのか」「どこまですれば終わるのか」を示し、見通しをもたせている。
5	<input type="checkbox"/>	指示は、具体物を使ったり黒板に書いたりする等、視覚的な情報を合わせながら具体的に出している。
6	<input type="checkbox"/>	予定に変更がある場合は、混乱しないようにわかりやすい方法で早めに伝えている。
◇言語障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	話す意欲を高め、主体的に学習に取り組むための工夫をしている。 (例) 自然な状況で話すことができる学習場面の設定、周囲の子供たちへの理解と啓発
2	<input type="checkbox"/>	子供の話し方等の小さな変化を見逃さず、ほめて認めている。
3	<input type="checkbox"/>	発音やリズム等の障がいの状況に応じた指導内容・方法を工夫している。 (例) 外部専門家(言語聴覚士・言語通級担当者・県立特支特別支援コーディネーター等)との連携
4	<input type="checkbox"/>	体験を通じた学習や遊びを取り入れたり、興味・関心をもって取り組める教材・教具等を工夫して、ことばの発達を促している。
5	<input type="checkbox"/>	保護者や教職員に配慮事項を丁寧に説明し、連携を図っている。

特別支援学級における授業づくり

特別支援学級における授業づくり

今持っている力を最大限に発揮して
自ら伸びようとする子どもの育成のために

もくじ

1. 特別支援学級で学ぶこととは、どのようなことでしょうか？・・・P.1
2. 特別支援学級担任は、授業づくりでどのようなことに奮っているのでしょうか？・・・P.2
3. 特別支援学級に求められている授業とは、どのような授業なのでしょう？・・・P.3
4. よりよい授業づくりのためには、どのように子どもの実態把握をすればよいのでしょうか？・・・P.5
5. 子どもが身に付けなければならない力を授業に身に付け、主体的に学ぶ授業とはどのような授業なのでしょう？

実践例Ⅰ 国語 小学校知的障がい学級・・・P.6
 実践例Ⅱ 算数 小学校知的障がい学級・・・P.8
 実践例Ⅲ 算数 小学校知的障がい学級・・・P.10
 実践例Ⅳ 学級活動(2) 中学校知的障がい学級・・・P.12
 6. 交流及び共同学習のねらいとポイントは、どのようなことでしょうか？・・・P.14
 7. 特別支援学級の授業づくりを推進する体制の整備として、どのようなことが必要なのでしょうか？・・・P.15
 8. 授業づくりで苦労する時は、どこに、どのように相談すればよいのでしょうか？・・・P.16
 9. 特別支援学級担任の先生へのメッセージ (PDF: 815KB)・・・P.17
 引用・参考文献

5. 実践例Ⅰ 国語 小学校知的障がい学級

1. 単元名 『読んでほしいBook』を作り、1冊に1冊は1冊 ... 1冊の中心人物の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ...

2. 単元の目標 ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ...

3. 単元の概要 (全学時数) ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ...

4. 本時の学習 (45分単位) ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ... 1冊の登場人物を捜し出すこと ...

リーフレット

校内授業研究 充実のためのポイント

特別支援学級における授業づくり

教師として大切にしたいこと

特別支援学級における授業づくりリーフレット(前)

特別支援学級における授業づくりリーフレット(後半)

教師として大切にしたいこと

もくじ

子どもを伸ばす先生とは

「見る」

「聞く」

「認める」

若手教師のための学級づくり

○見る「聞く」を大切にしたいこと

○聞くことは、子どもの個性を養う第一歩

○認めることは、子どもの意欲を育てる第一歩

○子どもが伸びるには、先生が伸びる必要がある

「見る 聞く 認める」を大切にしたいこと

子どもを伸ばす先生とは「見る 聞く 認める」

「見る 聞く 認める」は、子ども一人一人を認めるツールです。大切なことは、子ども一人一人の成長をイメージすることです。

4月の後、5月の学年を締めくくって1冊の冊子を作成し、貴会の年間活動と併せて、出会いの冊子や4月までの学級づくりの思い出や先生たちの笑顔によって作られています。しかし、ここで大切なことは、それらの冊子を作ることだけではなく、子ども一人一人の成長をイメージすることです。その冊子に込められた「見る 聞く 認める」の思いが、子ども一人一人の成長を促すことにつながります。

出会いの「見る 聞く 認める」

◆「見る」
子どもの成長を促す。一人一人の個性を大切に育てる。子ども一人一人の個性を大切に育てる。子ども一人一人の個性を大切に育てる。

◆「聞く」
子どもの個性を大切に育てる。一人一人の個性を大切に育てる。子ども一人一人の個性を大切に育てる。

◆「認める」
子どもの成長を促す。一人一人の個性を大切に育てる。子ども一人一人の個性を大切に育てる。

新着情報

西部教育局からのお役立ち情報【令和3年度3月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました **NEW!**

西部教育局からのお役立ち情報【令和3年度2月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました

西部教育局からのお役立ち情報【令和3年度1月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました

西部教育局からのお役立ち情報【令和3年度12月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました

西部教育局からのお役立ち情報

西部教育局からのお役立ち情報

令和3年度 西部教育局からのお役立ち情報(月別)

3月号 (PDF: 2069KB) **NEW!**

2月号 (PDF: 3507KB)

1月号 (PDF: 3888KB)

12月号 (PDF: 2785KB)

11月号-1 (PDF: 3505KB)

令和3年度 西部教育局ビジョン

令和3年度 西部教育局学校教育担当の取組 (PDF: 641KB)

令和3年度 各教科等

ICTを活用した授業づくりの充実に向けて4 (PDF: 743KB)

全国学力・学習状況調査質問より 記述問題S・S (スーパー・セレクト) 版を作成しました! (PDF: 815KB)

月別とカテゴリ別にPDFで公開しています。
バックナンバーも公開していますので、ご覧ください。

お役立ち情報及び各リーフレットは、すべてPDFで公開しています。
必要に応じてダウンロードや印刷をして御活用ください。

鳥取県のホームページ内に西部教育局のページが作られています。

